

結節性痒疹患者の治療とケアパスの確立： 多学際的観点からの患者中心の焦点

免責事項

- 未承認医薬品や、承認医薬品の承認されていない使用法について講演者が論じることがありますが、そのような場合、1つ以上の法域での承認状況を表している可能性があります
- 講演者が適応外使用や未承認使用について言及する場合には、その旨を必ず開示するようUSF HealthおよびtouchIMEから通知を受けています
- USF HealthおよびtouchIMEの活動においてこれらの製品や使用方法が言及されても、未承認製品や未承認の使用方法をUSF HealthおよびtouchIMEが推奨したり暗示したりするものではありません
- USF HealthおよびtouchIMEは、誤謬や不作為によるいかなる責任も負いません

エキスパート MDT パネル



教授。アンソニー・
ビューラー
精神皮膚科医
Barts Health NHS トラ
スト、英国
ロンドン



教授。マーティン・メッ
ツ
皮膚科医
アレルギー学研究所 (IFA)
、シャリテ-ベルリン大学
、ドイツ



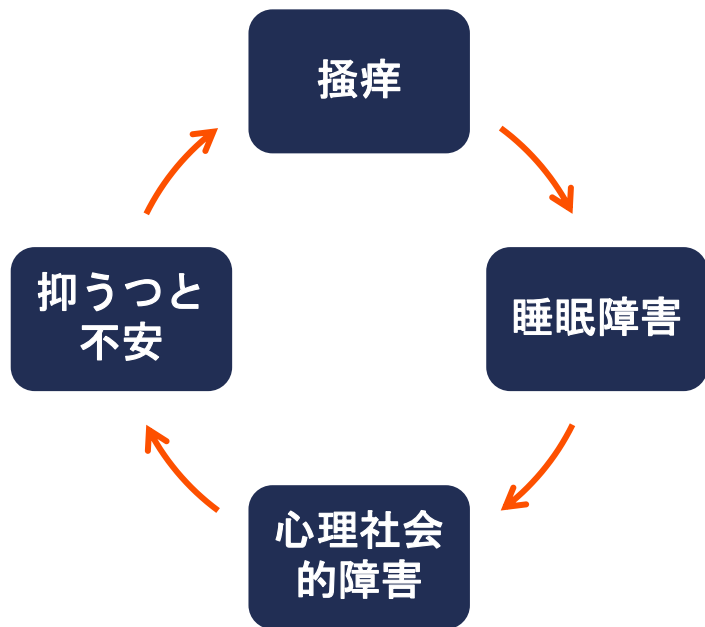
マヌエル・ペレイラ博士
皮膚科医
アレルギー学研究所 (IFA)
、シャリテ-ベルリン大学
、ドイツ



シャイラジャ・マガンティ
患者支援者
主宰-結節性痒疹 インタ
ーナショナル、英国ロンド
ン

PNの疾患負担と併存疾患

PNの掻痒がQoLを低下させる¹



PN患者に多い関連疾患：^{1,2}

- メンタルヘルス障害
- HIV感染症
- 2型糖尿病
- 慢性肝臓病
- 皮膚、血液、固形臓器の悪性腫瘍



米国における救急科入院データの分析結果：^{3*}

- PNで確認された最多レベルの併存疾患は、敗血症（8.3%）、蜂巣炎（6.3%）、心不全（5.8%）、HIV（2.5%）であった
- PN患者は一般人よりも入院患者となる可能性が有意に高かった（67%対13%）

図はWilliams et al. 2021より転載。

*データはからのものですHealthcare Cost and Utilization Projectの2016 National Emergency Department Sampleによる

HIV、ヒト免疫不全ウイルス; PN、結節性痒疹; QoL、生活の質。

1. Williams KA, et al. *Expert Rev Clin Pharmacol.* 2021;14:67-77; 2. Larson VA, et al. *J Am Acad Dermatol.* 2019;81:1198-201;

3. WHANKA, et al. *J Am Acad Dermatol.* 2021;84:1138-40.

PNの診断

鑑別診断：一部の病気には PN に似た症状があります。例：1,2

結節性類天疱瘡	光線痒疹	多発性ケラトアカ ントーマ	肥厚性扁平苔癬
アトピー性皮膚炎	自己免疫性水疱 症	節足動物の刺咬	疥癬
神経症性擦創	皮膚むしり症	アミロイド苔癬	その他の慢性痒疹

PN、結節性痒疹。

1. Williams KA, et al. *Expert Rev Clin Pharmacol*. 2021;14:67-77; 2. Elmariah S, et al. *J Am Acad Dermatol*. 2021;84:747-60.

PNの診断

診断精密検査



初診

- 臨床検査と各種の系の徹底的調査
- PN重症度の評価：病変の広がり、掻痒の強度、疾患負担
- 不安や抑うつに関連する支援の必要性を評価する



臨床検査

- 全患者：血球数、肝機能・腎機能検査を実施する
- リスク要因/各種の系の調査に応じて、甲状腺機能、糖尿病評価、HIV検査、肝炎B/C検査



追加検査

- 悪性腫瘍スクリーニング：悪性腫瘍の疑いと掻痒が1年未満であれば専門医に紹介
- 生検：別の疾患やその他原因となる疾患が疑われる場合

PNの現在の治療オプション

- IFSIガイドラインは、専門医の推奨とRCTエビデンスに基づいた治療ラダーを推奨している¹

皮膚軟化剤

ステップ1

H1-抗ヒスタミン剤
外用ステロイド剤
外用カルシネリン阻害剤

ステップ2

UV光線療法
外用カプシン剤
病巣内ステロイド剤

ステップ3

ガバペンチン、プレガバリン
抗うつ剤
シクロスポリン
メトトレキサート

ステップ4

デュピルマブ
NK1R拮抗薬
ネモリズマブ（臨床試験中）
サリドマイド
μ-オピオイド受容体拮抗薬

- デュピルマブは、臨床試験（PRIME、PRIME2）のデータに基づいて成人患者向けPN治療薬としてFDAに承認された最初の治療薬である²

FDA、米国食品医薬品局; IFSI、International Forum for the Study of Itch; NK1R、ニューロキニン1受容体; PN、結節性痒疹; UV、紫外線。
1. Ständer S, et al. *Itch*. 2020;5:e42; 2. FDA. 以下で入手可能: www.fda.gov/drugs/news-events-human-drugs/fda-approves-first-treatment-prurigo-nodularis (2022年9月アクセス); 3. EMA. 以下で入手可能: www.ema.europa.eu/en/documents/smop/chmp-post-authorisation-summary-positive-opinion-dupixent-ii-63_en.pdf (2024年2月にアクセス)。